

[一般社団法人日本漢方交流会 企画部 主催・一般公開特別講座のご案内]

## 第 27 回 初学者のための漢方運用講座 ＜鼻・咽・耳の諸症状の諸症状に対する漢方処方＞

\*取得単位：漢方薬・生薬認定薬剤師 必須研修 3 単位(日本薬剤師研修センター認定)

日時 初学者講座 in 東京：平成 30 年 7 月 8 日 (日)

内容：10：30～12：00	基礎理論「五臓の生理について」	太田順康
12：00～13：00	昼食	
13：00～14：40	漢方の方剤学－半夏剤と類方－	高橋宏和
14：40～15：00	休憩	
15：00～16：40	鼻・咽・耳の諸症状に対する漢方処方の店頭応用	太田順康
16：40～16：50	質疑応答	

場所 東京：早稲田大学 国際会議場 3F 第 1 会議室 (案内板あり)

東京都新宿区西早稲田 1-20-14 TEL：03-5286-1755

高田馬場駅より学バスで西早稲田バス停まで 10 分 西早稲田バス停より徒歩 5 分

東京メトロ東西線 早稲田駅 3b 出口より徒歩 10 分

参加費：一般 5,000 円 日本漢方交流会会員、日本生薬学会会員 2,000 円、  
学生 1,000 円

\* 講座後、17：00～18：30 位まで、先生方を囲んで懇親会を行います。  
どうぞお誘いあわせの上ご出席下さい。(懇親会費・3000円)

### ＜申込み方法＞

郵便局の払い込み取扱票の通信欄に、氏名・職業・連絡先（〒住所、電話・FAX）を記入して、お振込み下さい。受講票と地図はメールまたは FAX で送らせていただきますので、払込取扱票に、FAX 番号またはメールアドレスを記入して下さい。

口座加入者名：一般社団法人 日本漢方交流会

郵便局振替口座番号：00220-6-103289

◎原則として、入金いただいた参加費の返却は致しません。

＜問い合わせ先＞ 日本漢方交流会 事務局

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 2-31-20-4F 正見堂薬局内

TEL：03-3412-1613 FAX：03-3412-7499

E-mail: shirane123@yahoo.co.jp

＜申込み締切り＞ 平成 30 年 7 月 1 日 (日) (当日参加も可能です)。7 月 1 日以降に振り込まれた方は受領証 (ご利用明細票) をお持ち下さい。

## 講師プロフィール及び講演要旨

### <太田順康先生>

薬剤師・鍼灸師。社団法人日本漢方交流会・漢方認定師範（終身）。

（有）艸皇園太田薬局（昭和39年～）。

履歴：昭和36年岐阜薬科大学卒業。昭和49年中和理療専門学校卒業。平成4年岐阜漢方研究会会長。平成10年岐阜薬科大学非常勤講師（漢方学）。

平成15年社団法人日本漢方交流会副理事長。平成18年東海漢方協議会会長。

専門：傷寒・金匱を中心にした古方。薬局製剤を中心にした漢方処方店頭応用。

わかり易い漢方基礎理論（初心者向け）。

著書：漢方基礎理論・重要処方解説（東海漢方協議会 初心者テキスト）。

色々な病に対する漢方処方の店頭応用1・2

くらしの薬草と漢方薬 ―ハーブ・民間薬・生薬―

共著 水野瑞夫／太田順康 新日本法規出版（株） 2014年8月

### 【講演要旨】

#### 五臓の生理

漢方医学独特の言葉は現代用語にない使い方が多く初学者の戸惑いの基になっています。特に内臓の働きについて考えるとき、現代医学的解剖学から来る臓器の名称と、漢方で良く使われる五臓の名称が同じで（例えば肝臓と肝、心臓と心、脾臓と脾、肺臓と肺、腎臓と腎）あって混乱が起こります。西洋医学の肝臓（レバー）と漢方で云う肝（キモ）とは同じ部分もありますが、違う部分もあり中々理解できないことがあります。今回は漢方で云う五臓六腑について、わかりやすい言葉で基本的な考え方について解説します。

#### 鼻・咽・耳の諸症状に対する漢方処方の店頭応用

耳、咽喉、鼻の病気への対応も含めて、漢方処方の応用を、問診、望診、聞診上の留意点を中心にお話します。

お客さんに満足していただける漢方処方の選び方をなるべく平易な言葉で判りやすく解説します。

耳鳴り、難聴、耳閉塞感、咽喉痛、咽喉閉塞感、鼻炎、鼻閉、鼻血など

### <高橋宏和先生>

薬剤師。京都漢方研究会理事・講師。

京都薬科大学非常勤講師（漢方医療薬学担当）。末広薬局

履歴：昭和53年徳島大学薬学部薬学科卒業。

昭和53年医療法人聖光園細野診療所勤務。

平成3年兵庫県明石市で末広薬局開局。

専門：細野流（浅田流）を中心にした折衷派。

### 【講演要旨】

「半夏」は、代表的な鎮咳・去痰・止嘔薬です。特に、痰飲が原因のさまざまな病態に応用されます。今回は、半夏の使い方と、半夏を主薬とする基本処方の小半夏湯、二陳湯類方について解説します。